

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道101号 五所川原西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県五所川原市太刀打 至：青森県西津軽郡柏村稲盛	延長	3.8km		

事業概要

一般国道101号は、青森市から秋田市に至る延長約270kmの日本海沿岸部を通過する主要幹線道路である。五所川原西バイパスは、津軽自動車道の一部を構成する浪岡五所川原道路と連結し、五所川原市街地を迂回する一般国道101号のバイパス機能を担う延長3.8kmの2車線道路である。

事業の目的、必要性

五所川原西バイパスは、一般国道101号の五所川原市街地の交通混雑の緩和、交通事故の減少を図るとともに、冬期の歩行者の安全性向上や救急医療の支援など、地域活動支援に大きく寄与するものである。

全体事業費	92億円	計画交通量	12,800台/日
費用対効果分析結果	B/C 3.5	総費用	84億円 （事業費：68億円 維持管理費：16億円）
		総便益	295億円 （走行時間短縮便益：265億円 走行費用減少便益：13億円 交通事故減少便益：16億円）
		基準年	平成15年

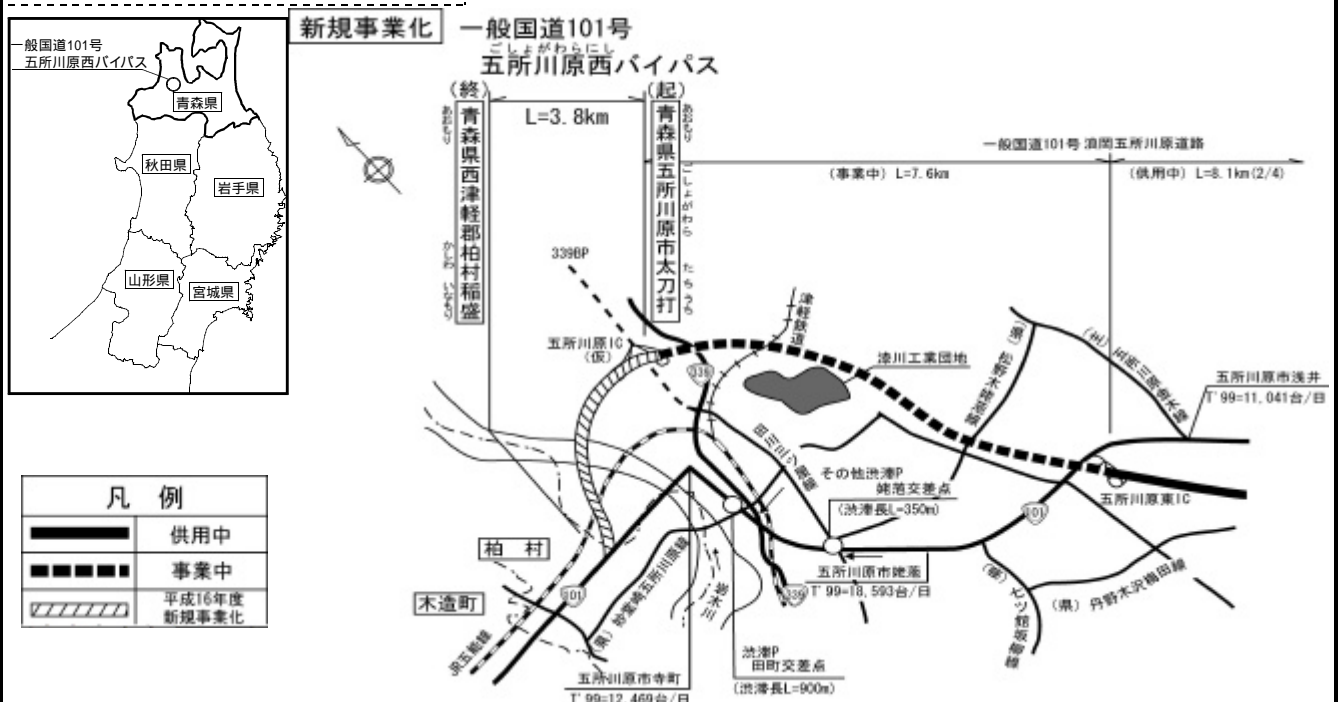
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善が期待される）
 - ・物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域から農林水産品の流通の利便性が向上）
 - ・国土・地域ネットワークの構築（青森県地域高度技術産業集積活性化計画を支援する）
 - ・安全で安心できる暮らしの確保（第三次医療施設の青森県立中央病院へのアクセス向上が見込まれる）
- 他6項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

五所川原西バイパスは、五所川原市街地の交通混雑の緩和の他、西津軽郡の地域活動を支援する重要な道路として期待されており、五所川原市長をはじめとする関連する2市8町7村の首長で構成されている津軽自動車道建設促進期成同盟会による要望（平成16年2月17日）を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。